

教養学科 ■ 学科科目

●必修科目 ○選択科目 (数字は単位数)

■ 基本科目

人類と文化 ②

文化人類学の考え方、ものの見方を身につける

人々の身の周りにおいて関わりをもつ文化の研究を通して、人間について考えます。身近でわかりやすいテーマを取り上げ、必要に応じてビデオやスライドなどを上映しながら、理解を深めていきます。

人間行動と社会 ②

社会心理学の専門用語や基本的理論を理解する

社会のなかで生きている人間の考えや振る舞いは、周囲の人々や社会の仕組みのあり方から大きな影響を受けています。社会と人間行動との相互作用や、影響過程に関する社会心理学の研究について学びます。

宗教と人間 ②

宗教の基礎的知識、暮らしと宗教の関わりを理解する

宗教は、人類の様々な営みの中で重要な役割を果たしてきました。世界各地の様々な生活習慣・文化活動で宗教の影響を受けているものを具体的に学び、その教義、聖典の文言についても学習します。

倫理と社会 ②

社会の倫理的課題への理解を深め、自分の生き方を考える

科学技術や社会制度の急速な変化に、社会構造や価値観は影響を受けています。一つの選択がいかなる価値をどんなふうにも高めることになり、自他ともに幸福な人生をもたらすのかについて考えます。

ことばと文化 ②

現代がどのような日本文化の延長上にあるかを考える

様々な角度から日本文学・文化を眺め、「ことば」と「文化」の密接な関係を再発見します。空間的距離のある他国文化や、時間的距離のある昔話・伝統芸能も視野に入れ、現代日本文化との共通性や差異性を考えます。

公共の思想 ②

近代ドイツの歴史を学び、現代の「公共」を理解する

ハンナ・アーレントの「全体主義の起源」とその関連研究を参照しながら、近代ドイツが経験した全体主義とその帰結としてのホロコースト問題を事例に、「公共」について考察します。

■ 主題科目 (人間と文化)分野

日本の歴史 ②

中世社会の「法」を学び、現代との違いと歴史を理解する

「日本中世社会と法と法習慣」をテーマに、授業を展開します。中世人は法をどうとらえていたのか、この時代の社会的特徴を背景とした慣習法や成文法の歴史を辿り、当時の人々の法意識を探ります。

日本の文化 ②

文化の基本的知識を習得し、理解を深め基本的視点を身につける

「ワビ・サビ」や「もののはれ」などの日本文化の特徴を表す言葉は、日本文化の特質を正しく示しているでしょうか。その点を踏まえ、歴史的背景にも留意しながら日本文化の側面を検討します。

アメリカの文化 ②

アメリカの文化について学び、自分自身の文化と価値観を振り返る

自由と独立の国アメリカにおいて、自由ではない人としての黒人、自由と独立を守るための武器である銃の二つの観点から、アメリカ文化の独自性を検討し、その文化自体に対する理解を深めます。

古典の文学 ②

古典を「文学」として読み、考える力を養い、人間理解を深める

主に平安時代の文学を取り上げ、各作品選り抜きの場面を辿ります。様々な作品に触れるなかで各自の興味・関心を見つけ、閲覧資料にも触れながら、最後にレポートとしてまとめます。

芸術と文化 ②

芸術と文化・社会の関わりを学び、日常生活での支えを理解する

近代以降の社会において、芸術と文化がどのように関係しながら発展してきたかの概要を学びます。現代の私たちの日常生活と、芸術的表現およびデザインとの関わりを中心に事例を紹介して理解します。

アジアの歴史 ②

東アジア諸国の歴史を学び、違いと関わり方を理解する

高校の世界史や日本史で学んだ材料を手掛かりに、東アジアの近代に何があったのか、それらはいかにして起きたのか、人々はその中で何を体験したのかなど、東アジア全体の歴史について学びます。

アジアの文化 ②

東アジア諸国の文化を学ぶことで日本文化の意味と役割を理解する

東アジア諸国の多彩な暮らし、生活儀礼と世界観、信仰と宗教、年中行事と食など暮らしの中に受け継がれている行為や習慣などの様々な事例を題材に、その現状や変化、地域差などを解き明かし、行動や考え方の根底を探ります。

神話の思想 ②

世界各地の神話の知識を習得し、自ら神話を分析する

神話に関する基礎的知識を習得したうえで、神話を幼稚で非合理的なものではなく「人類最古の哲学的思考」とみなす考え方について学びます。また、この考えに基づいて「シンデレラ物語」を解釈します。

現代の文学 ②

世界の「読み」方を鍛え、戦中から戦後を知り、現代を生きる指針を得る

西條八十・なかにし礼・阿久悠という昭和・平成の3人の作家／作詞家を取り上げ、現代文学からJポップの一流流を辿ります。それぞれの作品を扱い、読み解き方を学びます。

ヨーロッパの歴史 ②

ヨーロッパの歴史を学び、現代の諸問題を歴史から考察する

古代ローマ、イギリス、ドイツを対象として、「帝国」という視点から、ヨーロッパの歴史を振り返ります。また現代におきている諸問題も、政治に限らず、経済・社会・文化などの幅広い視点から考察します。

ヨーロッパの文化 ②

ヨーロッパ各国の文化を学び、構造や諸問題を考察する

グローバル化の進展に伴い、多様な文化的背景をもつ人々とのコミュニケーションの必要性が近年益々高まっています。なかでもヨーロッパ文化の理解を促進するため、各国文化の概要と文化構造を明らかにします。

人間の心理 ②

「自分」を心理学的に理解し、こころや行動を心理学的に説明する

人は自分自身や他者の行動について解釈や推論をしますが、それらには一定の法則があります。自分や他者、そして社会を認知・理解する際に働く様々な心理過程を、日常的な事例や科学的根拠を示しながら解説します。

映像と文化 ②

映画を通じて日本と日本人について考え、世界にも目を向ける

「男はつらいよ」や「釣りバカ日誌」など、日本映画を題材に昭和戦前から現代に至る喜劇の系譜を辿ります。また、私たちがコードとして蓄積してきた、笑いの文化についても考えます。

■ 主題科目 (現代の社会)分野

経済と社会 ②

マクロ経済学の用語を学び、政府が公表する統計から経済状況を考える

景気が悪いと生産は縮小し、雇用機会や人々の所得が減り、商品はさらに売れなくなります。景気はどう回復するのかという経済学の考え方を紹介し、国内経済の基本的な仕組みと働き、政府の経済政策を解説します。

法律と生活 ②

契約に関する権利や義務、裁判制度を学ぶ

売買契約の理解を出発点として、契約に付随する諸制度について学び、権利に関連する紛争および紛争解決制度(訴訟)、権利実現制度(執行・倒産)など、基本的事項についても学習します。

現代の家族 ②

教育学の基本的な知識を学び、教育の今日的な課題を考察する

「家族」の形態や社会的な観念は、時代や文化によって異なる様相を呈しています。本授業では、家、婚姻、子育て、ジェンダーなど様々な角度から「家族」とそれをとりまく社会のあり方について学びます。

情報と社会 ②

ICTの仕組みを理解し、適切な利用や活用を探索する

情報の生産・処理・流通・利用は密接に結びついており、それを収集・分析し効果的に活用する能力が要求されます。情報通信技術の発達が社会の発展と変化に与える影響を考え、今後の社会変化の方向を展望します。

食料問題と日本 ②

食生活の変化による食を巡る諸問題を理解し、解決策を考える

現在の日本には食料が満ちあふれています。しかし、豊かに見える食生活の背後には、国際的な食料の不均衡や、食の安全性、環境・エネルギーなど様々な問題が存在しています。現代日本の抱える食料問題を考察します。

企業と経営 ②

企業活動と組織の仕組みと、経営者の役割・経営戦略を理解する

私たちは生活に必要な財・サービスを企業から購入し、そのために必要なお金を企業で働き得ています。私たちと深く関わり、社会や経済にも大きな影響力をもつ企業の社会的役割を理解し、その運営のしくみを学びます。

現代の人間関係 ②

人間関係に関する社会心理学の基本的理論を学び、役立てる

日常的に経験する人間関係の諸問題について、その背後にある人間の心理を理解することを目的とします。人がある人と関係を築きたいと思う理由など、身近な例を取り上げながら、社会心理学の理論を解説します。

現代の教育 ②

教育学の基本的な知識を学び、教育の今日的な課題を主体的に考える

人間の成長発達、学校制度、社会教育、生涯学習など、多様な角度から「教育」について学びます。また、子どもの権利と健全な成長を保障するという観点から、今日的な教育課題と可能性を考察します。

環境と社会 ②

環境問題のもつ特徴を理解し、様々なリスク問題に適切に対処する

環境問題の克服は、これからの社会が取り組むべき最優先課題の一つです。様々な環境問題の実態を学び、その背景に生まれた新しい環境観や、問題解決のためにどのように「循環」と「共生」の社会を構築していくかを考えます。

国際社会と日本 ②

国際政治学の基本的な用語を学び、日本の重要課題を理解する

現代の国際社会がどのようになっているのか、国際社会の一部である日本はどの位置づけられるのか、そして日本は今後の世界とどう向き合うべきなのかを考えます。特に、国際政治学や政治理論の知見から解説します。

政治と生活 ②

政治が市民生活に直結していることを知り、政治への市民参加を考える

「市民が創る公共」をテーマとします。政治は、政治や行政の専門家だけが担うものではなく、その中心には常に市民の存在があります。「市民が中心の政治」の具体的なイメージを楽しく紹介しながら、理解します。

現代社会と福祉 ②

社会福祉の意義と理念、生活問題や人権問題を理解する

社会生活上の諸問題には、格差・貧困、社会的不平等、保育や介護などの多くの生活問題が含まれます。消費者の立場から社会福祉の身近な事例を取り上げ、福祉問題の概要、内容や仕組み、課題などについて解説します。

現代のメディア ②

メディアによる情報を適切に解釈し、主体的に判断する

現代はインターネットの普及で情報へのアクセスが容易になった反面、大量に発信される情報を取捨選択し使いこなす能力に格差が生まれやすい時代といえます。身近な事例を通じて、メディアとの接し方を考えます。



■ 研究科目

専門ゼミナール ②

深く追究したいテーマを選び、調査・研究に取り組む

学生一人ひとりが興味のある分野のゼミに所属し、それぞれのテーマを探究します。また1年間の専門ゼミを通して、自己表現方法やコミュニケーション能力も磨き、課題研究にも取り組みます。

卒業研究 ①

2年間の学習の集大成として、研究・分析結果をまとめあげる

専門ゼミごとに個人あるいはグループ単位でテーマを設定し、それについて研究・分析し、考えをまとめあげ、論文などの形にします。優れた研究成果に対しては、「優秀卒業研究賞」を授与しています。

